

山形市清掃問題審議会委員委嘱状交付式
令和7年度 第1回 山形市清掃問題審議会

日時：令和7年7月17日（木）

午前10時30分から12時00分まで

場所：市庁舎10階 委員会開催室

次 第

1 開 会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ

4 審議会委員の紹介

5 会長・副会長の選出について

6 議事録署名人の選出

7 報 告 等

（1）山形市一般廃棄物処理基本計画の目標値にかかる令和6年度実績について

..... P 1～5

（2）そ の 他 P 6

8 そ の 他

9 閉 会

出席者名簿

1 山形市清掃問題審議会委員

団体の名称	役職名	出席者名
山形大学	名誉教授	くにかた けいじ 國方 敬司
株式会社 山形新聞社	論説委員長	すずき まさし 鈴木 雅史
特定非営利法人 やまがた育児サークルランド	ファミリー・サポート・センター 事業リーダー	やまかわ のりこ 山川 哲子
山形市消費者連合会	会長	すずき じゅんこ 鈴木 淳子
ごみ減量・もったいない ネット山形	会長	ながせ ようこ 長瀬 洋子
山形市環境保健推進協議会	会長	まえの あきお 前野 秋夫
山形市PTA連合会	母親委員長	わたなべ さおり (欠席) 渡邊 さおり (欠席)
山形県村山総合支庁 保健福祉環境部環境課	廃棄物対策主幹	おおくぼ つよし 大久保 剛 (欠席) (代理出席 横山 秀典) よこやま ひでのり 横山 秀典
山形商工会議所青年部	理事	はせがわ なおゆき 長谷川 直幸 (欠席) なおゆき
山形県行政書士会	山形支部会員	さんべ ひろゆき 三部 浩幸 (欠席) ひろゆき
J Aやまがた女性部	副部長	わたなべ まさこ 渡辺 正子 まさこ
山形県地球温暖化防止活動 推進センター	センター長	おおば けんいち 大場 健一 けんいち

2 山形市清掃問題審議会幹事

所属	職名	出席者名
環境部	部長	豊後 真
廃棄物指導課	次長兼課長	加藤 明彦
循環型社会推進課	課長	貝羽 芳信

3 山形市清掃問題審議会書記

所属	職名	出席者名
循環型社会推進課	循環型社会推進総括主幹 兼課長補佐	渡邊 友恵
	分別収集係長	藤井 康幸
	課長補佐兼循環型社会計画係長	齋藤 孝文
	資源循環推進係長	福島 郁
	循環型社会計画係主幹	高橋 英樹
	循環型社会計画係主事	菅 詩織

4 山形市一般廃棄物処理基本計画（生活排水処理基本計画）関係

所属	職名	出席者名
廃棄物指導課	課長補佐	武田 智行
	課長補佐兼一般廃棄物係長	荒井 泰人
	施設係長	羽角 夏樹

（1）山形市一般廃棄物処理基本計画の目標値にかかる令和6年度実績について

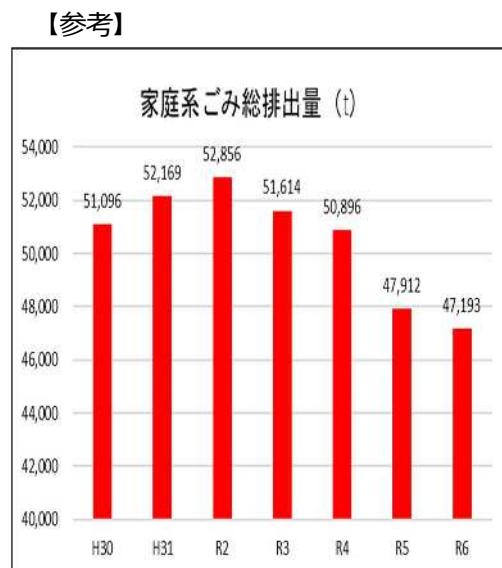
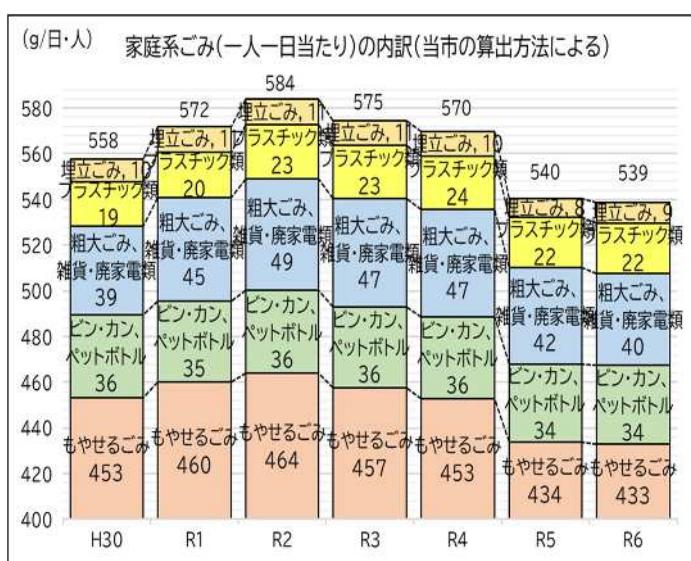
個別方針 1 発生・排出抑制に係る目標

(1) 市民一人一日当たりの家庭系ごみの排出量の削減

(g/人·日)

実績 (R6年度)	目標 (R7年度)	中間目標 (R9年度)	目標 (R14年度)
539	—	—	—
(566)	(563)	(556)	(537)
	R3から12g/人・日 (約2.1%)削減	R3から19g/人・日 (約3.3%)削減	R3から38g/人・日 (約6.6%)削減

() は目標値



◎令和6年度実績について

令和6年度は、前年度と比較して1g減少し539gとなりました。計画の目標値の566gと比べると、27g少なくなっています。

市民の皆さんのごみ減量とリユース意識の高まりにより、取組が促進されたものと考えます。

◎令和7年度の取り組みについて

市民団体と連携し、店頭回収キャンペーンやごみ減量出前講座に取り組むとともに、ごみ分別アプリ等を活用し、ごみ減量ワンポイントアドバイスを毎月定期的に発信し、意識向上を図ります。

市の中古備品を山形市「メルカリ Shops」に出品し、引き続きリユースに繋げます。また、ブックオフの宅配買取寄付サービス「キモチ。」を活用し、古本やCD等をWEB申込とボックスで回収し、リユースに繋げ、ごみ減量を図ります。

さらに、小型家電リサイクル事業では、対象品を新たに23品目追加し、更なるごみの減量を推進します。

個別方針1 発生・排出抑制に係る目標

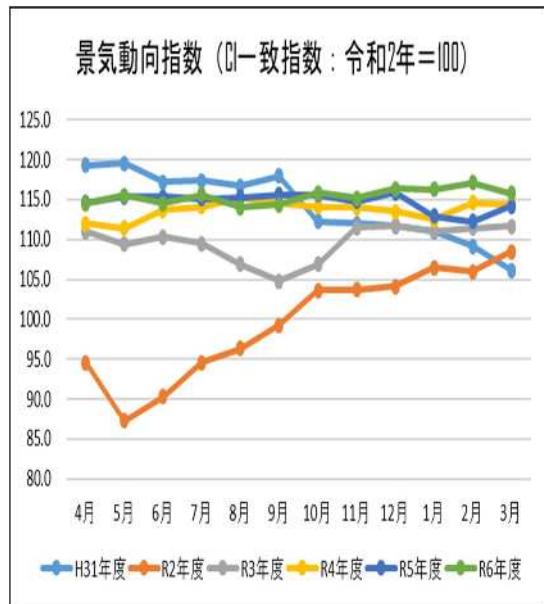
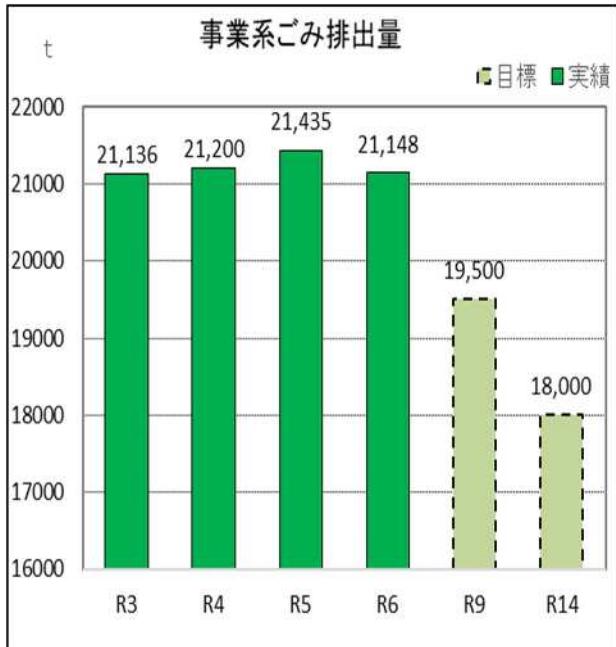
(2) 事業系ごみの排出量の削減

(t／年)

実績 (R6年度)	目標 (R7年度)	中間目標 (R9年度)	目標 (R14年度)
21,148	—	—	—
(20,317)	(20,044)	(19,500)	(18,000)
	R3から約1,100t (約5.2%)削減	R3から約1,600t (約7.5%)削減	R3から約3,200t (約15%)削減

() は目標値

【参考】



◎令和6年度実績について

令和6年度は、令和5年度より287t減少しました。

事業系ごみの量は、経済活動・景気動向に左右されると考えられますが、景気動向指数は、令和5年度と6年度ではほぼ横ばいであり、事業系ごみ排出量も変化がなかったものと考えます。

◎令和7年度の取り組みについて

大規模事業者に作成を義務付けている「事業系廃棄物減量等計画書」や、「事業系一般廃棄物の減量・リサイクルの手引き」の活用により、事業者のごみ減量・リサイクル意識の定着を図ります。また、優れた取組を行っている事業者の取組内容を紹介してまいります。

また、「お古紙ください協議会」について、事業者へ周知し活用を促すことで、古紙のリサイクル推進を図ります。

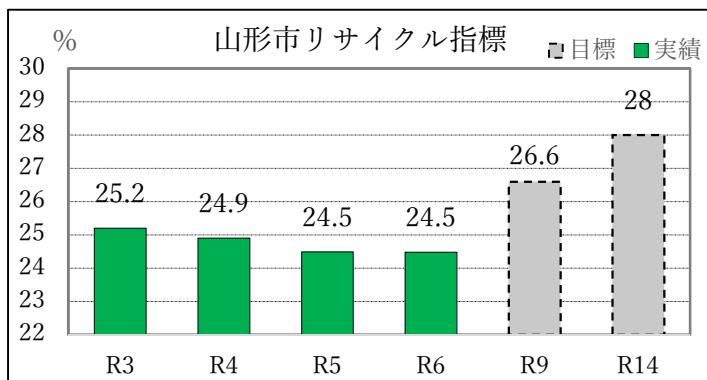
個別方針2 循環資源の有効利用に係る目標

(3) 山形市リサイクル指標の向上

(%)

実績 (R6 年度)	目標 (R7 年度)	中間目標 (R9 年度)	目標 (R14 年度)
24.5	—	—	—
(25.9)	(26.1)	(26.6)	(28.0)
	R3 から 0.9 ポイント上昇	R3 から 1.4 ポイント上昇	R3 から 2.8 ポイント上昇

() は目標値



【山形市リサイクル指標の対象とする資源化量】

- ①ごみ処理施設から排出する資源物
- ②資源回収量（地域団体等による資源回収、古紙類の集積所回収 等）
- ③大規模事業所における再生利用量
- ④スーパー等における店頭回収量
- ⑤新聞販売店による回収量

◎令和6年度実績について

ごみ排出量の総量は前年度より減少しておりますが、資源回収量や大規模事業所における再生利用量といった資源化されている量も減少したため、リサイクル指標は、令和5年度と比較し横ばいとなっております。

◎令和7年度の取り組みについて

市民団体と一層の連携を図り、スーパー等での店頭回収（食品トレー、紙パック等）の活用や、集団資源回収を推進し、さらなる取り組み拡大を図るための広報等を実施していきます。

また、大規模事業所で再資源化に積極的に取り組んでいる事例等を紹介し、事業系ごみの資源化率の向上を促進します。

※ なお、これまで使用していた令和5年度の指標値（25%）には、大規模事業所における再生利用量にビン・カンの回収量が含まれていたため、24.5%に修正しています。

個別方針3 適正処理の推進に係る目標

(4)最終処分量の減量

(t)

実績 (R6年度)	目標 (R7年度)	中間目標 (R9年度)	目標 (R14年度)
3,994	—	—	—
(3,826)	(3,749)	(3,650)	(3,400)
	R3から約162t（約4.1%）削減	R3から約250t（約6.5%）削減	R3から約500t（約13%）削減

() は目標値



◎令和6年度実績について

令和6年度は、令和5年度より91t減少しました。

◎令和7年度の取り組みについて

家庭系ごみ、事業系ごみそれぞれの減量や分別の施策を進め、ごみの排出量の削減に引き続き務めていきます。

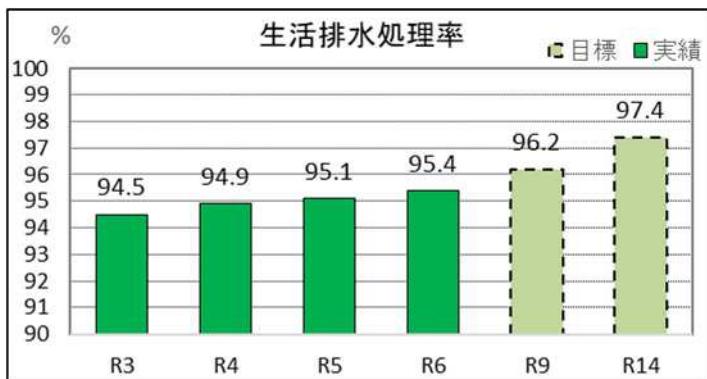
個別方針1 生活排水処理率の向上に係る目標

(1)生活排水処理施設への接続の促進

(%)

実績 (R6年度)	目標 (R7年度)	中間目標 (R9年度)	目標 (R14年度)
95.4	—	—	—
(95.4)	(95.7)	(96.2)	(97.4)
	R3から1.2ポイント向上	R3から1.7ポイント向上	R3から2.9ポイント向上

() は目標値



$$\text{生活排水処理率} = \frac{\text{下水道接続人口} + \text{農業集落排水接続人口} + \text{合併処理浄化槽利用人口}}{\text{計画処理区域内人口}} \times 100$$

◎令和6年度実績について

下水道区域内及び農集排処理区域内での、浄化槽や汲み取り便槽から下水道等へ接続が進み、生活排水処理率は95.4%に達しています。

◎令和7年度の取組みについて

下水道区域及び農集排区域内で、未接続者の接続促進に努めます。
合併浄化槽への転換促進に努めます。

(2) その他

ペットボトルの水平リサイクルの促進について

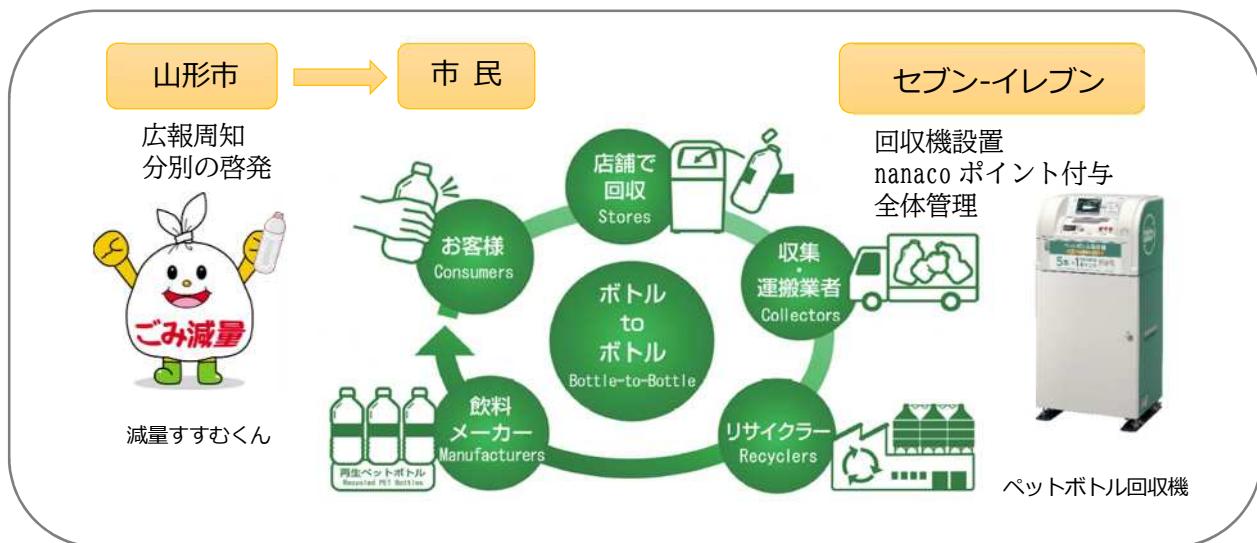
山形市は、プラスチックごみの排出抑制と資源の循環利用を推進するため、事業者と連携しペットボトルの水平リサイクルを推進しています。身近なコンビニでのペットボトル1本から気軽にリサイクルに参加できる活動と、家庭でのペットボトルのごみ出しが資源回収の役割を担う取組を啓発し、市民のリサイクル意識の向上を促進しています。

1 株式会社セブン-イレブン・ジャパンとの連携

コンビニエンスストア店頭に設置したペットボトル回収機で、市民が持参した使用済みペットボトルを回収。回収後のペットボトルを原材料としてリサイクルペットボトルに製品化し、商品として販売される循環型リサイクルを推進している。中をすすぎキャップとラベルを外して回収されたペットボトルは、5本ごとに1 nanaco ポイントが付与される。

山形市は、広報周知と分別の啓発を行う。

- ・設置開始 令和7年3月27日 (県内のセブン-イレブンで初設置)
- ・設置店舗 市内39店舗
- ・回収実績 令和7年6月末 本数: 267,258本 重量: 6,708kg



<参考>包括連携協定について

名 称：山形市と株式会社セブン-イレブン・ジャパン及び株式会社ヨークベニマルとの包括連携に関する協定

締 結 日：平成29年10月26日

連携・協力事項：環境対策・環境保全に関すること 他10項目

2 サントリー食品インターナショナル株式会社及びサントリーホールディングス株式会社との連携

家庭からごみ集積所に排出された使用済みペットボトルを再生ペットボトルにリサイクルしている。排出方法は変わらず、ペットボトルの中をすすぎ、キャップとラベルを外して分別する。

<参考>連携協定について

名 称：ペットボトルの水平リサイクルに関する協定

締 結 日：令和6年12月23日 取組開始：令和7年4月1日

連携事項：ペットボトルの水平リサイクルを実施および維持管理するために必要な活動 他2項目

協定締結者：山形市、上山市、山辺町、中山町及び山形広域環境事務組合

◆ペットボトルの水平リサイクル(ボトル to ボトル)のメリット

- ・資源の循環利用 (再生ペットボトルの原料として繰り返し再利用が可能)
- ・製造工程におけるCO₂排出量の削減
- ・リサイクルの「見える化」による市民の分別意識向上